

別記2

粉末消火剤に係る係数を定めるための試験方法

1 器材

器材は、次のものを用いる。

- (1) 1m×1m×0.1mの鉄製の燃焼槽
- (2) 噴射ヘッド1個(オーバーヘッド用で放出角度90°フルコーン型。等価噴口面積は、流量の0.7の値を目途として、ヘッドの吐出圧力と圧力容器で調整する。)
- (3) 消火剤容器 体積 20ℓ以上(消火剤の種別により定める。)
- (4) 消火剤重量 12±1kg(消火剤の種別により定める。)

2 試験方法

- (1) 1(1)の燃焼槽に対象危険物を深さ3cmとなるように入れて点火する。
- (2) 点火1分後に図の噴射ヘッドから表に示す標準放出量の消火剤を放出圧力(ノズル圧力)1±0.2kgf/cm²で、30秒間放出する。
- (3) 消火しない場合は、(1)及び(2)の操作を放出量を増して行い、消火するまで繰り返して、消火した時の放出量を記録する。
- (4) (1)から(3)までの操作を3回以上繰り返し、その平均放出量を求める。

3 係数の求め方

当該危険物の係数は、次の式により求める。

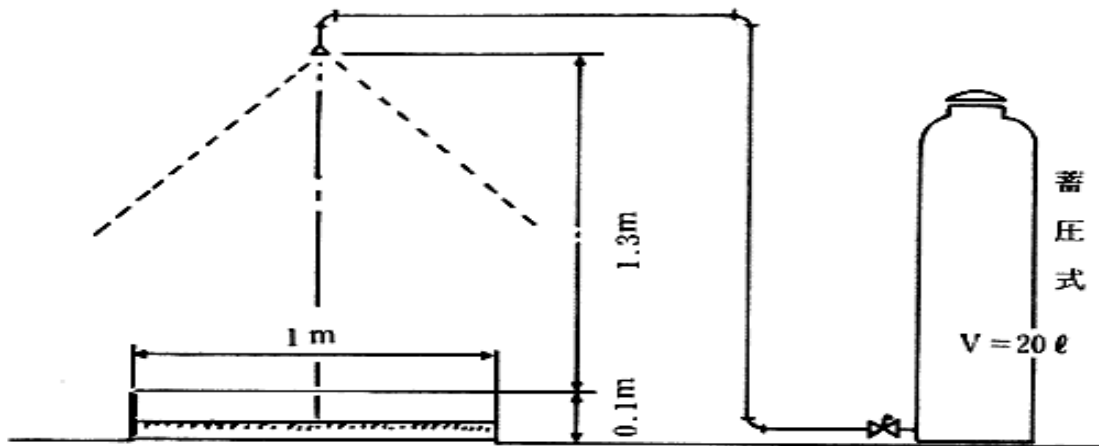
$$K=Q/Q_s$$

K：当該危険物の係数(小数点以下第2位を四捨五入し、0.2刻みとして切り上げる。)

Q：平均放出量(単位kg/sec)

Q_s：標準放出量(単位kg/sec)

〔計算例・第一種粉末消火剤の場合の平均放出量が0.25kg/secの場合
 $K=0.25/0.2=1.25 \approx 1.3 \rightarrow 1.4$ となる。〕



消火試験器材配置図

表 粉末消火剤の種別と標準放出量

消火剤の種別	標準放出量(kg/sec)
第一種粉末	0.20
第二種粉末又は第三種粉末	0.12
第四種粉末	0.08